

東日本大震災

名古屋って、あったかくて、いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、でも全力で応援します。

被災者支援ボランティアセンターなごやのお知らせ

令和5年3月27日発行 (第142号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、隔月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています。

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや

〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階

名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内

電話：070-5587-7153(平日9～17時)

FAX:052-917-0702

Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp

先日、WBC(ワールドベースボールクラシック…野球の世界大会です)が開催され、日本が14年ぶりに優勝しました(3回目)。岩手県出身の大谷翔平選手・佐々木朗希選手が大活躍され、ご覧になられた方は元気をもらったり、感動されたのではないのでしょうか。

令和5年度

東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや

令和4年度も大変お世話になりました。

令和5年度も4年度と同様の体制で引き続き運営をつづけていきますので、皆さんどうぞよろしくお願いいたします！

4年度は、語り部ボランティア派遣事業を始めたところ、たくさんのご依頼を頂きました。これもご協力いただいているボランティアの皆さまのおかげです。ありがとうございます。

また、最近は何々悩みごとがあるという方のお話を聞くこともあります。ボランティアセンターでできることは、もちろん対応させていただきます。できないことは、できる機関につなぐなどとはできます。困ったなあ...ということがあれば、一度ボランティアセンターにご相談ください。

＜体制＞◆時 間 平日9時～17時 (土日祝日と年末年始は休み)

◆電 話 070-5587-7153

◆ウェブサイト (センターの活動内容などを掲載しています) → 二次元コード

<https://www.nagoya-shakyo.jp/mokuteki/m-volunteer/v-torikumi/vc/>



＜事業＞

◆相談受付……………随時

◆「お知らせ」発行……………2か月に1回

◆語り部ボランティア派遣事業……………随時

◆「お茶っこサロンなごや」開催……………年2回程度

※お茶っこサロンなごやで企画してほしい内容を募集しています！

皆さんのやってみたいことを教えてください！

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時：令和5年4月11日・25日 全日 火曜日 10時15分～12時

会場：名古屋市総合社会福祉会館6階 録音編集室 (北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物：はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ 材料費：1回500円～(実費相当)

被災者支援ボランティア
センターまで事前にお申し込みください。

参加者大募集！！

◎2月14日(火) 鯨城学園の勉強会にて

高年大学鯨城学園の学生の方にお声がけいただき、Aさんから宮城県での被災体験について語っていただきました。活発な質問・意見交換が行われました。

◎同日 東区の研修会にて

人権擁護委員向けの研修会にお声がけいただき、Bさんから福島県での被災体験・避難後の生活について20名ほどの参加者へ語っていただきました。

◎2月19日(日) 南区の勉強会にて

防災に熱心な学区の担当者の方にお声がけいただき、Cさんから宮城県での被災体験、避難所生活について語っていただきました。当日は3社のマスコミが取材に入られていました。

◎3月5日(日) 瑞穂区の勉強会にて

学区が主催する勉強会にお声がけいただき、Bさんから福島県での被災体験・避難後の生活について60名ほどの参加者へ語っていただきました。

◎3月7日(火)・8日(水)・9日(木) 東区の福祉会館にて

3日間計36名の方にお話を聴いていただきました。Dさんから岩手県での被災体験について語っていただきました。ペットとの避難についてもお話しが盛り上がりました。

◎3月10・17日(金) 昭和区の介護予防教室にて

1時間ほどお時間を頂き、Eさんから福島県での被災体験について語っていただきました。家具転倒防止の備えが大切という話で参加者の皆様と意見交換をしました。

やはり3月は皆さん防災への意識が高く、本当にたくさんのご依頼をいただきました。

引き続き、語り部ボランティアに協力できるよ！という方からのご連絡お待ちしております！